



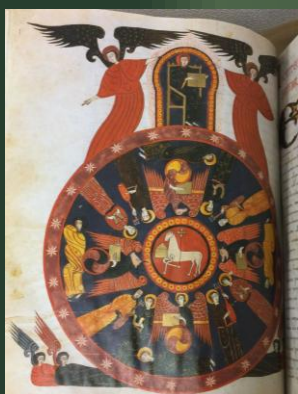
Library Liébana

2025年1月度展示内容のお知らせ

【今月の展示写本】

- (1) ベアトウス黙示録写本群のなかで10世紀後半から11世紀前半に製作された4冊の写本。
- (2) 13世紀に英仏で流行した黙示録写本

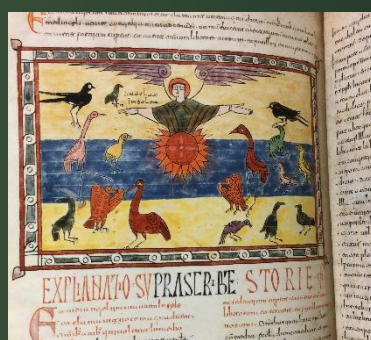
【10世紀後半～11世紀前半のベアトウス写本】



(ファクンドゥス写本
1047年頃)



(サン・スヴェール写本
1028-72年の間)



(ウルジェイ写本
10世紀第4四半期)



(エスコリアル写本
10世紀末頃)

【13世紀の英仏黙示録写本】



(パリ黙示録写本)
1250-55年



(ドゥース黙示録写本)
1265-75年頃

ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

ファクシミリ本とは：
オリジナル写本の大きさや色を再現。
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に
再現した複製本も多数展示しています。

愛知県豊田市西町5丁目5
VITS豊田タウン B1F
(西町5丁目北交差点の
外側階段を降りて下さい)
10:00~17:00

1月の開館日(予定) 水・木・金・日曜日
(HP、インスタで確認下さい)

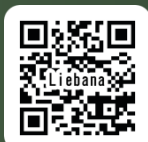
2025年1月						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
30 (休)	31 (休)	1 (休)	2 (休)	3 (休)	4 (休)	5 (休)
6 (休)	7 (休)	8 (休)	9 (休)	10 (休)	11 (休)	12 (休)
13 (休)	14 (休)	15 (休)	16 (休)	17 (休)	18 (休)	19 (休)
20 (休)	21 (休)	22 (休)	23 (休)	24 (休)	25 (休)	26 (休)
27 (休)	28 (休)	29 (休)	30 (休)	31 (休)	1 (休)	2 (休)
3 (休)	4 (休)	5 (休)	6 (休)	7 (休)	8 (休)	9 (休)



Google Map



H.P.



Instagram



ベアトゥスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトゥス(ベアトBeato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトゥス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち20写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書きなどをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

今月の展示写本

- (1) 10世紀後半～11世紀前半に製作されたベアトゥスの黙示録註解書写本
- (2) 13世紀に英仏で流行した黙示録写本

①【ファクドゥス写本】

13世紀に制作されたラウエルガス写本を除くと、修道院ではなく王室の依頼で制作された唯一のベアトゥス写本です。

系統はモーガン写本と同じIIa群です。大きさは他の写本と比較しそれほど大きくはありませんが、全312葉と一番大部な写本になっています。

また、金・銀・紫がふんだんに使用され、豪華な挿絵が98点描かれています。

②【サン・スヴェール写本】

ベアトゥス写本の中で唯一ピレネー山脈を越えたフランスの修道院で制作された写本。挿絵は2頁大の挿絵が5点、全頁大が36点あります。

モサラベ様式の中にロマネスク様式がまざった挿絵が見られる。例えば新エルサレム(f. 207-f. 208)では建物全体はミサガ写本のように正方形で構成されていますが、アーチは馬蹄形ではなく半円形のアーチが描かれています。

また、他の写本ではノアの箱舟が描かれていますが、この写本では大洪水の様子が描かれているのが特異です。(f. 85)

③【ウルジェイ写本】

10世紀後半にスペイン北部のアストゥリアス東部で作られた。ロマネスク様式のモサラベ風の90の彩色挿絵が描かれています。キリスト論の系譜の序文とダニエル書の解説とともに、黙示録に関するベアトゥスの註解テキストが書かれています。

章の見出しには、遊び心のある表示大文字が使用されます。これは、少し前のバルガード写本のスタイルと図像を参照しています。

羊皮紙の質の悪さは、それが修道院での使用の為に作られたことを示唆しています

④【エスコリアル写本】

エスコリアル写本は950年頃にサン・ミジャン・デ・ラ・コドーリャ修道院で制作されました。ここではほぼ同時期にいくつものベアトゥス写本が制作されました。

エスコリアル写本の挿絵は、モーガン写本やジローナ写本と違い、青や赤はあまり使用されず、代わりに黄色や泥がかかった茶色・ダークグリーンに塗られ、それはのちのコゴリャ写本にも受け継がれます。

特に人物の顔の描き方に特徴があり、鼻と片方の眉がほぼ直角の直線で描かれ、大きなしずく型の目が特徴です。

⑤【パリ黙示録写本】

13世紀に突如流行となった英仏黙示録の初期の写本。系統としては第1系統に属する。オリジナルは展示本の約1.5倍の大きさになる。

本写本は、黙示録の前後に挿入されたヨハネの生涯を描いた部分は、2段構成の全頁大挿絵(いわゆる「ピクチャー・ブック」形式)が配され、黙示録本文は半頁大の挿絵を上部に配して、下部にダブル・コラムでテキストを配している。

⑥【ドゥース黙示録写本】

「ドゥース黙示録」は、13世紀から14世紀に英仏で多く作られた黙示録写本の系統の一つで、「ゲッティ黙示録」と同じ系統に属する黙示録です。

未完の写本のため、彩色途中の挿絵が多数あり、当時の彩色手順などがよくわかる写本です。